

平成30年度

第7回いわき市教育委員会議事録

平成30年10月23日（火）

第 7 回 教 育 委 員 会 記 録

- 1 開会年月日 平成30年10月23日（火） 午後1時30分
- 2 開催場所 教育委員室
- 3 出席委員 教育長 吉 田 尚
教育長職務代理者 馬 目 順 一
委 員 山 本 もと子
委 員 根 本 紀太郎
委 員 宮 澤 美智子
- 4 欠席委員 な し
- 5 説明のために出席した者の氏名
教育部長 柳 沼 広 美
教育部次長兼総合調整担当 松 島 良 一
中央公民館長 遠 藤 喜 一
いわき総合図書館長 夏 井 芳 徳
教育政策課長 緒 方 勝 也
施設整備課長 緑 川 安 彦
参事兼生涯学習課長 緑 川 直 行
学校教育推進室学校教育課長 玉 澤 淳
学校教育推進室学校支援課長 木 村 丈 二
総合教育センター所長 日 野 俊 隆
事務局統括主幹兼教育政策課長補佐 井 坂 泰 一
教育政策課長補佐 鈴 木 康 夫
施設整備課主幹兼課長補佐 佐 藤 孝 之
生涯学習課課長補佐 平 子 博 文
学校教育推進室学校教育課管理主事 鯨 岡 寛 泰
学校教育推進室学校教育課主幹兼課長補佐 會 田 尚 彦
学校教育推進室学校支援課課長補佐 高 木 尚 道 浩
- 6 書 記 教育政策課主任主査兼総務係長 藁 谷 昇
- 7 閉 会 午後2時33分

会議の概要

教育長 ただいまから平成30年度第7回いわき市教育委員会を開催いたします。

欠席委員の通告は、ございません。書記には藁谷主任主査（兼）総務係長を任命いたします。会期は、本日限りといたします。議事録への署名でございますが、本日出席された委員の皆様方をお願い申し上げます。

それでは、早速、教育長の報告に入ってまいりたいと思います。本日の案件は、2件でございます。

報告（1）平成30年度いわき市奨学資金奨学生の二次募集選考結果について、教育政策課長から説明願います。

教育政策課長 [教育長の報告（1）平成30年度いわき市奨学資金奨学生の二次募集選考結果について説明]

教育長 ただいまの説明に対して御質問等ございますでしょうか。

それでは、報告（2）にまいります。いわき市生涯学習推進本部委員の委嘱について、生涯学習課長から説明願います。

生涯学習課長 [教育長の報告（2）いわき市生涯学習推進本部委員の委嘱について説明]

教育長 ただいまの説明に対して御質問等ございますか。

それでは、教育長の報告は以上となります。本日は議案がありませんので、その他の件に移らせていただきます。

7、その他でございます。（1）平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について、学校教育課長説明願います。

学校教育課長 [その他（1）平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について説明]

教育長 ただいまの説明について、御質問等があれば、よろしく願いいたします。

根本委員 2点お聞きしたいのですが、まず学力向上支援連絡協議会が合計で26名と書かれていますが、小中別に分かっているのか、小学校が何名で中学校が何名、教科だと何名ぐらいなのか、もう少し具体的に教えていただければというのがひとつです。

それから、3頁の結果で、説明では、中学生の地域への参加率が少し低いというお話でしたが、小学生についてもそういった結果があるのか教えてください。

学校教育課長 まず、学力向上支援連絡協議会につきましては、小中26名ということですが、約半数ずつ小学校と中学校の教員が関わってございます。校長会の研究部長及び各教科の指導員、教育委員会委嘱の教科指導員から人選して委嘱をして、調査に当

たっただいております。

また、地域との関わりの部分ですが、中学生は大きく下回っている状況ですが、小学生はそこまでの状況ではなかった、という結果です。考えられることとしては、中学生は特に部活動の大会数が多いため、どうしても地域への関わりが薄くなってしまふのかなということが考えられますので、現在、部活動方針の策定に向けて取り組んでいるところでございます。

教育長 その他、何でも結構でございます。

根本委員 中学生が少ないのは、部活動が影響しているのかなとは思っていましたが。現在、総合教育会議でも部活動のあり方が議論されていますし、少しずつ地域への参加率が上がってくるといいかなと思ったところです。

山本委員 別冊の指導改善資料を先程いただいたもので、内容がまだ把握できていませんが、昨年度もお話したと思いますが、この作成にかかる担当指導主事の時間は大変なものだったと思います。

内容をよく見てみますと、学習の落ち込みの部分や、授業中の指導の陥りやすい点も書かれていて、よく分析されているなと思いました。各学校の先生方に向けて、教育センターの研修の時などに活用していただいて、今後、是非、授業にも効果的に活用していただきたいなと思います。作っただけで終わったのでは本当にもったいないと感じますし、作成された先生方、本当にお疲れ様でした。

もうひとつ、少し心配なのが、別冊資料1の3頁に「家の人と、学校の出来事について話をしますか」の調査に「している」「どちらかといえば、している」と回答した児童の割合が、いわき市は全国を下回っていることです。各学校でPTAとの話し合いの時に校長先生方から話していただきたいと思います。「子どもの話を聞いてあげましょう」「耳を傾けてあげましょう」ということを、今後、各学校でも取り組んでいていただきたいと思いました。それと、先ほど根本委員のお話にも出ましたが、地域行事への参加率が低いということも心配です。

また、指導改善資料にも自己肯定感という言葉が出てきますが、学校訪問をした時も、自己肯定感の低い子どもをどうやって高めればいいのか、ということに取り組んでいる校長先生もいらっしゃいました。こういった取組が、自己肯定感を高めていくことにも繋がっていくのかなと思いました。

昨年度、地区の校長先生方とご一緒した時に、「地区の行事に参加していますか」といったお話があったのですが、そこでも、「やっぱり部活もあるし、難しいところですね。」という話が出ていました。今後は、少しずつ部活動の取組み方について改善されていくと思いますので、少しでも子ども達が地域の行事に参加できるようになることを願っています。

官澤委員 先日、山形での市町村教育委員会研究協議会の研修に参加してきました。そこで、「地域と社会と学校が共同してコミュニティスクールを作る」という分科会に出てきたのですが、他の市町村では保護者側と学校側とで、地域の教育に対する認識

が違うという意見を聞きました。「教育は学校がするものだ」と、おっしゃっている地域もありまして、それはそれで大変だと、びっくりしました。

一番気になるのが、別冊資料1、3頁の「メディアコントロール」と「ボランティア活動の参加者が少ない」というところです。教育力というのは学校だけではだめだし、分かっていることですが、家庭内の理解や教育力も上げないといけないと考えると、親の教育をどうやっていけばいいのかなということが課題だと思っています。PTAの連絡協議会など、組織の力を借りながら、山本委員や根本委員からもありましたが、学校での現状を保護者の方々にお伝えして、各家庭で会話を増やして、子どもの現状を親が良く知って、家庭の実情に応じた教育の仕方をもっと考えていく必要があるのかなと思いました。

山本委員 教育長との学校訪問でも感じましたが、中学校の授業がアクティブラーニングに向かって頑張っているようになってきました。

指導改善資料の91頁を見ましたら、中学校の校内研修で「テーマを決めて講師を招聘する」という項目が、全国が88.5%あるのに、いわきが49.5%というのはあまりに低すぎると思います。それと「模擬授業」と「校外の教科教育に関する研修会等に定期的・継続的に参加する」の項目も下回っていて、これらの研修関係項目が下回っているというのは、検討課題として考えていただきたいなと思います。

根本委員 各家庭で、学校の話が少ないという結果でしたが、皆さんのおっしゃるようにPTAや保護者の中でも、そういった認識を持って、自らが語り掛けていくというのが大切なのかなと思いました。私も保護者のOBですので、OBも、現役の保護者の方々に、いろいろお伝えしていくということが責務のひとつかなと思ってお話を聞いていました。

また、学校訪問や、小教研・中教研を拝見していて、授業でどれだけ児童生徒を引き付けられるか、それによってその教科が好きになることもあるなと痛感しています。そういう授業を、これまで多々、目にしていますので、私はとても心強く思っています。それがすべてではありませんが、私としては、先生達がやる気になっていくような雰囲気作りへのお手伝いができればなと思った次第です。

学校教育課長 皆様のご意見を参考に今後進めていきたいと思っています。なお、先程研修に対する意欲が十分でないという部分は、大きなネックになる所かなと思いますので、教員がしっかりと取り組める環境整備と働きかけを行っていきたいと思っています。

教育長 指導改善資料の89頁を見ていただきたいのですが、この辺の意識改革は必要だなと思っています。いわゆる、学校と地域の関わりの部分で、小学校は全国並みで推移していますが、中学校はほとんど全国を下回る結果だということは、さきほど宮澤委員からのお話のように、保護者も地域も先生方にも、まだ、勉強は学校でやることだという意識があつてのことだと思っています。

これからの教育の流れである、地域からの協力や、地域との関わりの中で学習をしていかなければならないということが、いわきの中、特に中学校の場合に、課題があ

ることを表している結果だと思っています。生涯学習課でも学校との関わりを進めてくれている所ではありますが、学校間格差が、いわきが多い地域だと思います。先生方の意識改革というよりも、いわゆる教育課程、学校運営のマネジメントである校長、教頭の意識改革が急務ですので、私も校長会等でこれらについては、しっかりとお話していかなければいけないと思っていますところ。

合わせて、博物館などを活用している学校が少ないので、もっと現有の様々な施設を活用した取組みが必要ではないかなと思いました。

宮澤委員 先日、いわき総合図書館長や馬目先生が講師を務められた、「内郷学」の講義に参加してきましたが、大変楽しかったです。夕方からでしたので数回だけの参加でしたが、大人になってから縄文時代のことや戊辰戦争について勉強できると本当に楽しくて、家に帰ってから、娘の中学校の教科書を読み返してしまいました。

生涯教育の分野になると思いますが、公民館等をメインにして、子ども達に学ぶことの楽しさをどんどん伝えられていくことができる、これからであってほしいなと思いました。

私の収穫としては、内郷地区の縄文時代の話や遺跡、戊辰戦争のことを知ったことで、地元がとても素晴らしく愛する気持ちが芽生えたことです。大人になった今だから分かったことなのかもしれませんが、中学生ぐらいでも、おそらくそういう楽しさは理解できると思うので、皆さまの協力を得ながら、そういった部分の教育もお願いしたいなと思いました。

教育長 その他何かございますか。

改善すべき所が山のようにありますので、しっかり取り組んでいかなければならないと思っております。

それでは、次に移らせていただきます。その他（２）でございます。

平成31年成人式の開催について、生涯学習課長から説明願います。

生涯学習課長 〔その他（２）平成31年成人式の開催について説明〕

教育長 ただいまの説明に対してご質問等ございますか。

市長の出席は分かっていますか。

生涯学習課長 これから返事をもらうところです。

馬目委員 大人の常識という本は去年と同じですか。

生涯学習課長 いろいろなものから選んでもらうのですが、大体、マナー本になっております。大人の常識という本は、昨年と同じものです。

教育長 その他ございませんか。またお世話になることもあるかと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。1月13日が成人式です。

それでは、その他（３）でございます。

「勿来勤労青少年ホーム」の廃止及び施設移管に伴う「（仮称）金山公民館」の設置について、生涯学習課長から説明願います。

生涯学習課長 〔その他（３）「勿来勤労青少年ホーム」の廃止及び施設移管に伴う「（仮称）金山公民館」の設置について説明〕

教育長 ただいまの説明に対して御質問等ございますか。

根本委員 別冊資料２の比較表ですが、公民館の休館は、月の第三日曜日となっておりますが、市内の公民館は、全部、そう決まっているのですか。

生涯学習課長 第三日曜日と決まっています。

根本委員 分かりました。現在は第一日曜日と第三日曜日は開いているということなので、第三日曜日に活動するサークルなどもあるのかなと思ったものですから。もし、休館日なども変えることができるならと思いましたが、お聞きしてみました。全部の公民館で休館日が決まっているなら、活動しているサークルなどには説明していつて、となるのかなと思いました。

教育長 その他ございますか。

根本委員 最初の説明では、現在は地域の方の利用が多いという実態だということでしたので、半分は公民館化しているのかなと思っていました。勤労青少年ホームは地域の方が利用できる施設ですか。

生涯学習課長 当初は勤労青少年ホームということで、中小企業に働く青少年が対象だったのですが、夜間の利用が多くて、昼間は施設が空いているということでしたので、地区の方々からの声もあって、主に使わない時間帯は地区の方に使っていただくとなりました。公園の施設にはなりますが、勤労青少年ホームの敷地内にテニスコート等もありますので、勤労青少年以外の方でも利用していた状況です。また、条例上は、勤労青少年が対象となっておりますが、指導者等も利用できるよう規定されています。

教育長 その他ございますか。

それでは、その他（４）いわき市立図書館ホームページにおけるデジタル化地域資料の公開について、いわき総合図書館長から説明願います。

いわき総合図書館長 〔その他（４）いわき市立図書館ホームページにおけるデジタル化地域資料の公開について説明〕

教育長 ただいまの説明に対して、御質問等ございますか。

宮澤委員 先日「写真家がとらえた昭和の子ども展」を見てきました。もっと地元のことを知りたいけれど、手元にはないし、とっていたところなので、昔の写真を提供して下さった方々の写真を見て、地域の財産ですし、ぜひ家族みんなで閲覧していただきたいなと思いました。

科学技術で貴重な資料がこういうふうに残っていくのだなということに、大変感動を覚えております。よろしく願いいたします。

教育長 その他ございますか。

根本委員 プリントアウトも可能とありましたが、この頁にあるものはすべてそうなのですか。

いわき総合図書館長 パソコン等で画面を呼び出して、後は「この画面をプリントアウトする」を押していただければ印刷機から出てきます。資料の8頁以降に実際のサンプルも入っていますので、参考にしていただきたいと思います。

教育長 それでは、その他の件については以上でございます。

それでは、8、協議事項に移ります。1件でございます。

教育施設マネジメントの適正化に向けた基本方針の策定について、学校支援課課長補佐説明願います。

学校支援課長補佐 〔協議事項（1）教育施設マネジメントの適正化に向けた基本方針の策定について説明〕

教育長 ただいまの説明に対して、御質問等があればよろしく願いいたします。

教育長 3頁に全体図がありますが、いわき市総合計画に関わって、いわき市公共施設等総合管理計画ができあがっていて、それらから、教育施設が非常に多いということでした。市内公共施設の床面積の35%が教育施設ということですので、しっかりとマネジメントしていく上では、こういった基本方針をしっかりとてながら取り組む必要があって、今回方針を決定したところでは、「見える化する」「総合的にとらえ全体として考える」「将来を見据え最適化を進める」「施設の現状を最適化する」ということで進めてまいります。

御質問等があれば、何でも結構です。

山本委員 最後に「国家百年の計は、教育にあり」と説明がありました。お金がないから削る、ということだけではなくて、これからの人材を活かし育てることが、最も大切なのだという部分を、心強く聞かせていただきました。将来を見据えたあるべき姿を検討するというのは大変難しいことですが、いろいろな場所の

視察もされているようですし、視察先から学ぶこともたくさんありますので、よい部分を取り入れながら取り組んでいただきたいと思います。

また、エリアマネジメントとありますが、これからは、ひとつの学校だけではなく、全体をどう考えていくのかなという部分が大切になってくるのかなと思います。大変な仕事だと思いますが、組織間の連携を持って努力されることを期待しています。

教育長 ありがとうございます。ほかにはどうでしょうか。何でも結構です。

先程、中学校の課題で地域との連携が弱いということがありました。施設を最適化することで、将来を見据え、地域が入りやすいような、学校が関わりやすい施設のあり方も考えられていくことなのかなと思います。このような基本方針で進めていくということで、ご理解いただいてよろしいですか。よろしくお願ひ申し上げます。

以上をもちまして、平成30年度第7回いわき市教育委員会を終了いたします。